

事業費の合計(千円)		32,396	446,175	20,993
財源内訳	国庫支出金	0	0	6,000
	県支出金	0	0	8,000
	地方債	0	423,500	0
	その他	0	0	0
	一般財源	32,396	22,675	6,993

Check ◆事務事業を構成する細事業の評価◆ A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	小木直江津航路利用促進補助金	B	B	A	小木直江津航路へ高速カーフェリーが導入され、変則ダイヤが解消されたので当事業は廃止する。
2	小木直江津航路運賃助成事業補助金	B	B	A	小木直江津航路へ高速カーフェリーが導入され、変則ダイヤが解消されたので当事業は廃止する。
3	小木直江津航路利用促進事業(県、上越市との連携事業)	B	B	A	小木直江津航路へ高速カーフェリーが導入され、変則ダイヤが解消されたので当事業は廃止する。
4	佐渡航路活性化協議会運営費補助	B	B	A	新潟両津航路の魅力アップを今後どのように行うか、また、ときわ丸建造に伴う運賃還元策、誘客促進策の進捗管理など佐渡汽船の自主財源により、運営することとなったのでH27年度より補助制度を廃止
5	佐渡航路確保維持改善協議会	A	B	B	小木直江津航路への国補助金(航路損失補てん)の受け皿、佐渡3航路のあり方について継続した協議が必要。
6	小木直江津航路船舶建造事業補助金	B	A	B	平成27年5月1日事業完了。(事線)
7	両泊航路利子補給事業	B	B	A	平成26年4月末で事業終了。
8	寺泊港整備・利用促進協議会	B	B	A	寺泊赤泊航路のあり方についてが課題。
9	航路の利便性向上及び活性化に向けた協議	B	B	B	佐渡航路のあり方や利用促進等に関して、県、佐渡汽船(株)、関係自治体等と協議することが必要。

Action ◆今後の事務事業の方向性◆

評価(担当課長)	事業の方向性	維持	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)	<ul style="list-style-type: none"> ・3航路のあり方(老朽船更新、利用促進、安定運航等)について、今後とも継続して関係者と連携、協議し、航路の活性化及び安定化を図っていく必要がある。平成27年度、地方創生関連事業で乗用車航送運賃割引(佐渡航路利用推進協議会事業)で実施し、一定の誘客上の効果が見込まれ、平成28年度航路対策事業により予算計上。乗用車航送台数・旅客数及び佐渡汽船(株)の自立支援に繋がれるかが課題である。 ・耐用年数を大きく超えて運航しているジェットフォイルの更新が課題である。 			